

地域協働学校だより No.9

令和2年2月12日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です。3年生のサッカー交流会とみどりのボランティアの活動を見学させていただきましたのでご紹介いたします。

サッカー交流会（3年生）：なでしこリーグ 日テレ・ベレーザの選手と共に



1月28日、なでしこリーグ日テレ・ベレーザの村松智子選手、中里優選手と東京ベルディのコーチお二人をお招きして、全校合同の講演会と3年生とのサッカー交流会を行いました。

小学生の時にサッカーを始めたお二人は、中学1年生でベレーザの下部組織日テレ・メニーナに150人中たったの5人という難関を突破して合格し、現在はトップチームであるベレーザで活躍するほか日本代表チームに選ばれるトップ選手たちです。村松さんはディフェンスとして守備のみならず攻撃のパスをつないで後方から試合を作るポジション、小柄な中里さんはミッドフィールダーとしてピッチ全体を走り回り攻撃も守備もこなします。

小学生の時は体育と音楽が得意で算数が苦手だったという村松さんは、当時からサッカー選手になってワールドカップやオリンピックに出ることが夢でした。当時はサッカーばかりで学校行事に出られないことも多く、学芸会の劇に出られたことが印象に残っているそうです。一方、体育と図工が得意で苦手科目は理科だったという中里さんは、低学年のころの夢は

獣医でしたが、4年生くらいからサッカー選手になりたいと思うようになりました。「今、夢がない人も焦ることはありません。夢を見つけることを楽しむとよいと思います。」と中里さんは言っていました。

はじめに入った日テレ・メニーナは中学1年から高校3年の選手が在籍するので、最初は体格も違い試合に出られない辛い日々が続いたそうです。その頃を振り返って「とにかくやり続けることが大事」「悔しくてたくさん泣いたけれど、負けたくなくて人より努力した」と。

お二人とも15歳で日本代表に選ばれますが、その時の気持ちは「試合前に国歌を歌ったときは鳥肌が立った。」「ずっと目指してきたことだったのでうれしかったけれど、同時に緊張と責任を感じた」とのことでした。このあと児童たちからの質問コーナーもあり、楽しいお話が聞けました。

4時間目のサッカー交流会では、3年生児童が8人前後のチームに分かれ、村松・中里両選手&コーチ二人の4人チームと直接対決するサッカーゲームを行い、全員がプロの選手と戦うことができ大変盛り上がりました。とても寒い日でしたが、体育館は熱気に包まれました。

市谷小児童へのメッセージ

「今夢がある人もない人も、夢中になれるものを見つけて実現のために努力する過程が大事です。周りへの感謝の気持ちも忘れずに。」
「努力は楽しいことばかりではないけれど、続けていけばきっとチャンスが来ます。家族、先生、友達のを借りながら頑張ってください。」





みどりのボランティア：飼育栽培委員児童との春のお花植替え

2月3日月曜日の6時間目、委員会の時間を使い飼育栽培委員会児童とみどりのボランティアの皆さんで植替えをしました。この日の参加は児童10名とみどりのボランティア9名。校庭に集合し先生のあいさつで始まりました。

最初にみどりのボランティアからレクチャー。花苗ポットから取り出し方や植え付け方の簡単な説明の後、大久保通り沿いとみどり門前の側道の2班に分かれ作業を開始しました。児童のみなさんは説明を聞く態度も立派でしたが、植え付け時の苗を傷めないように丁寧かつ手早く植え



付ける様子、手が空いたら他を手伝う姿も大変立派でした。植え付けた後は水やりをして終了となりました。最後に感想を聞かせてくれました。「お花にお水をうまくあげられて良かった」「貴重な経験ができました!」「根元の土を少し押さえることを知りました」「ランキュラスがきれいでした!」などです。委員会とのコラボは年2回、初夏とこの時期立春あたりに行っています。

今回植えたお花は、ビオラ、フリージア、ランキュラス、ネメシア、ネモフィラ、葉牡丹の全60鉢です。秋に植えた球根も芽を出しています、充実した花壇をお楽しみください。



みどりのボランティアメンバーを随時募集中です。お問合せは、市谷小学校副校長増田義久先生まで。

